

感染制御に関する知識の向上を図り、医療機関における感染対策を充実させる

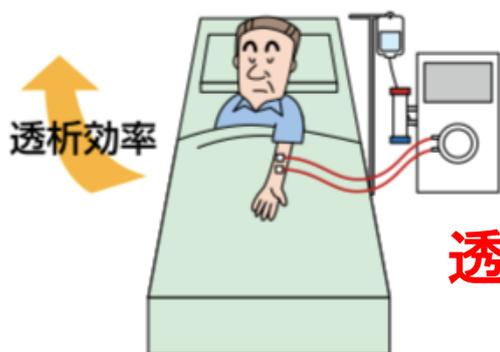
## 感染対策

Japanese College of Infection Control Doctors

現代の医療水準は、高度の医療技術、設備を背景に発展を遂げていますが、透析医院はcompromised hostが集団生活をする特殊な環境であるため、院内感染を惹起しやすい状況にあります。適切な院内感染の制御が行われなければ、患者様およびスタッフを感染被害から守ることが出来ず、医院の機能そのものを果たし得ないこととなります。院内感染対策の充実のためには、医師、看護師、臨床工学技士、リハビリテーション技士など、多くの職種と患者様の協力が必要であり、感染制御の専門的知識を有する専門家も必要です。当医院の今村克郎医師は、腎臓専門医ですが認定ICDも取得し、院内感染予防に尽力していただいております。

近年流行している新型コロナウイルス感染症、今年度流行しているインフルエンザA型などの院内感染を防ぐためには、スタッフのみならず患者様のご協力が必要不可欠です。日頃から院内の移動制限や入退室時間制限、個室隔離透析など、ご協力いただきありがとうございます。

## 腎臓リハビリテーション（透析時運動指導）



透析中に適切な運動を行うことにより、透析効率が改善します。透析効率が良くなれば、1回の透析で十分な透析を行うことができます。

## 透析中に20分程度の運動をしませんか？

透析患者さんでは、運動不足が脳卒中も含めた心血管疾患を招き死亡率を上昇させることがわかってきました。腎臓リハビリテーションは、「腎疾患や透析医療に基づく身体的・精神的影響を軽くし、息切れや疲れやすさなどの症状を軽くし、生命予後を改善し、心理社会的ならびに職業的な状況を改善することを目的として行う運動療法」です。わかりやすくいえば、慢性腎不全や透析患者さんがもっといきいき生活できるように、長生きできるように、さまざまな手段を用いて実現するものです。